平成２１年度　第６回富里市教育委員会定例会議会議録

富里市教育委員会

１　期　　日	平成２１年９月２４日（木） 開会　午後２時０５分 閉会　午後３時４７分	
２　場　　所	富里市役所本庁舎３階第３会議室	
３　出席委員	委員長	荒木田　直　美
	委員長職務代理者	髙　橋　弘　和
	委員	河　田　厚　子
	委員	武　井　勝　彦
	教育長	山　中　　忠
４　出席職員	教育次長	細　野　　明
	教育総務課長	南　條　正　和
	学校教育課長	山　田　眞　澄
	生涯学習課長	萩　原　三　夫
	生涯学習課スポーツ振興室長	加　茂　博　美
	学校給食センター所長	並　木　　明
	図書館長	中　嶋　保　雄
５　事務局職員	教育総務課主幹	髙　須　利　幸
	教育総務課主査	岩　舘　宗　栄

平成２１年１０月２７日

１　委員長開会宣言

委員長　平成２１年度第６回富里市教育委員会定例会議を開会する。

２　前回会議録の承認

平成２１年度第５回定例会議会議録承認

３　教育長報告

・８月２８日から９月議会。最終日は９月３０日。いろいろな教育に関する多くの一般質問が出された。

・８月２９日に縄文チャレンジキャンプの開会式に初めて参加した。すばらしいキャンプであり，普通のキャンプでは経験できない体験ができるのではないかと思った。もっと多くの子どもたちに参加してほしかった。ボランティアの参加も多く，ありがたいと思った。

・９月６日にラジオ体操全大会表彰式に参加。夏休みに１０回以上ラジオ体操に参加した多くの子どもたちが参加してくれた。保護者も多く，ロータリークラブの講演もあり，ありがたいと思った。

同日に富里ひずめ太鼓チャリティー公演に初めて参加。結成後１５回目であり，よく練習されていてすばらしい演奏であった。

・９月１０日に浩養幼稚園の臨時保護者会を開催。浩養幼稚園の現状と今後について，教育委員会としては前向きに考えていきたいと話をさせてもらった。

それと同じように，１７日に地区説明会を行った。多くの地域の方に参加してもらって，説明させてもらった。

・９月１４日にＰＴＡ連絡協議会が，学区の安全，子どもたちの登下校の安全について各学区の問題があるところの要望書を持ってきた。

・９月１９日に浩養小・洗心小学校の運動会に参加。地域の方の応援がものすごく，地域の一大イベントと感じた。残せるものなら残したいと思った。

・９月の下旬から学校訪問を始める。

・１０月になってから教頭先生との面接を予定している。

４　教育委員報告

委員　９月１２日に行われた富中の体育祭を見学した。会場には消毒用ジェルとマスクが用意してあり，新型インフルエンザに対応していた。

種目は応援合戦を含め中学生らしいかなり迫力のあるものだった。その中でも２年生による「大ムカデレース」は興味深いものだった。クラス対抗の団体競技であり，大幅に遅れたクラスの男子チームを女子生徒

が必死に応援する姿，中には泣き出す子もいて感動的だった。競技をするものと応援するものが一体となり，クラスの団結も大いに強まったと思われる。

メインの学級対抗リレーの直前で，心配されていた雨が降りはじめ，残念ながら中断される結果となった。

先生方はおそろいのＴシャツを着て，競技の中でも細かい配慮などがあり，学校側の意気込みが感じられた。

１９日には洗心小学校の秋季連合大運動会を見学した。１０年ぶりに見た運動会は,児童数の減少でさすがに寂しく感じた。父兄はもとより，お年寄り，地元消防団，ボランティアの洗心小卒業の中学生など，地域を挙げての連合大運動会の和やかな雰囲気は，昔と変わりなく洗心小ならではのよさがしっかりと引き継がれていた。この日を楽しみに集まってくるお年寄りの姿が目立ち，小学校への愛着の強さが感じられ，小学校が地域の中心として果たす役割もまだ大きいと感じた。

委員　９月５日に南中の体育祭に行ってきた。校長先生の気合の入れ方がとても元気がよくて，印象深かった。入場のとき男子が何人かはだしでいたので，応援のためと思っていたが，女の子も何人かはだしでいた。最初から気合が入っていた。

自分たちの体育祭にしよう，力を合わせようとする姿はとても感動的だった。

１０日に子育て支援課所管の次世代育成支援行動計画策定委員会に出席した。６月に行われた就学前児童１，０００人，小学生１，０００人の保育サービスの利用状況とニーズについてのアンケートの結果が報告された。膨大なニーズ調査の結果であったが，事務局と業務委託業者から報告・説明があった。この日は２回目の委員会であったが，ニーズ調査だけをやるのではなく，その後をどのように引き出していくのかということで非常に活発な意見の交換があった。

委員　５日の南中，１２日の富中，北中の体育祭，１９日の浩養小・洗心小の運動会を見学した。

南中は　　委員から報告があったが，私は地元で以前から様子がわかっていたので，ちょっとおとなし目の体育祭だったと思った。台風の影響で準備不足もあったものと思われる。あるいは，期待が強すぎたのかもしれないという気がしている。

富中は，生徒の数も多くにぎやかで見ごたえのあるものであった。

北中は,今年に関しては紅白ではなく３チームでの対抗ということで，やり方等も工夫され，元気のある体育祭になったのではないかと思われ

る。いる時間は短かったが，非常によい体育祭になったのではないかと感じている。

洗心小については，小規模ながらも地域の方の応援がすばらしいと聞いてはいたが，いかんせん児童が少なくなりすぎていると感じた。地域の方も競技の応援に回っているし，子どもたちも競技の手伝いをしているので，見ている人も一般の観客も少なくなっているし，子どもたちの応援席にも子どもがいない状況でさびしい印象を受けてしまったが，中学生のボランティアが一生懸命そろいのジャージを着て動いていたのは印象的だった。

浩養小は洗心小よりも児童数が多く，地域の方の観客も多数あり，運動会らしかった。相変わらずおじいちゃん，おばあちゃんを含め地域の方々が来ていたので，非常にいいなと思った。

委員長　富中と根木名小の運動会に行ってきた。富中は，生徒の団結がすごく，真剣に取り組んでいる姿に感動した。それと同時に，先生方が，生徒が悔しいときには一緒に悔しがり，喜ぶときにはオーバーに喜び励ましている，生徒のそばについて生徒と一緒に喜怒哀楽を表しているなど，生徒といい関係になっていると思った。

雨のため，体育館を開放していたので，親子でどのくらいお弁当を食べたか副校長に確認したところ，３０組ほどあったそうである。それを親離れ子離れしていないととるのか，親子関係がうまくいっているのだろうととるのかはわかれるところであるが，うまくいっているととりたい。親と一緒に食事をしている子どもたちの笑顔はとてもすばらしいと副校長からの報告を聞いて，中学校でもそのようにすばらしい親子関係が築けていると感じた。運動会で一緒にお弁当を食べるのもいいと思った。

根木名小は，保護者の競技で転ぶ人が多かった。気持ちは前に出ているが足が進まないために，何人も転ぶ人がいて，けがをした人はいなかったか心配であった。夢中でやってしまうので楽しくはやっているが，けがをしたと聞いていないのでよかったと思う。

９月１０日に印教連の教育委員長会議があった。その中で県教育庁教育振興部生涯学習課の主幹兼学校家庭地域連携室長の柴内先生の公演があった。印旛で校長をやられ，印旛のことをよくご存知の方であった。

県の取組の話をしてくれたが，たくさんある中で地域とともに歩む学校づくり推進支援事業というのがあって，富里の施策にもある学校支援ボランティアを進めるのに，コーディネーターが一番大変ということだった。各学校それぞれ教頭がコーディネーターをやっているがそれが大

変ということで，支援ボランティアを進めるのであればコーディネーターを置くということと，各学校の空き教室をひとつ地域ルームとして確保し，そこを拠点としてコーディネーターが受け入れていけばうまく進むでしょうとのことであった。しかし，それをうまく進めている学校が非常に少ないとのことであった。国や県の補助を使って研究指定校のような形で進めているところもあるということであった。

これから富里でも学校支援ボランティアを進めるに当たっては，コーディネーターを置くということで各学校で探していくのがいいのかと思った。

コミュニティースクールの推進事業というのがあって，千葉県内では習志野市の秋津小学校というのがあって，そこしかやっていない。難しい事業でなかなか進まないということであった。印旛では佐倉市の白銀小学校を研究学校としてコミュニティースクールを進めるようにしているということであった。

高校も始めているということで，多古高校がコミュニティースクールの指定を受け，地域も入って進めていこうとしている。

近隣ではそういうところである。

ゆめぴったり体験も富里で小学校がやっているが，ある学校では親の職場を見に行かせるということをやっている学校もあるということで，県の教育委員会も職員の子どもたちが来たような話もしていた。勤め先の場所とかの関係もあるが,親の職場を参観するのもいいかなと思った。

県の取組をたくさん話してくれたので，ためになった。

５　協議事項

（１）小規模特認校への取組について（学校教育課）

学校教育課長　―資料に基づき説明―

案ということで説明する。

洗心小学校を考えての取組である。佐倉市の弥富小学校が平成２０年度からスタートしている。その要綱を参考に富里に合うように変えたものである。

委員長　質問，意見等があったらお願いする。

委員　小規模特認校制度を実施してもらうことはありがたいことだと思う。

仮に特認校になった場合には，何年ぐらい期間を予定しているか。

学校教育課長　できれば平成２２年度からスタートしたいと思っている。

平成２７年度には複数の学年で，複式学級が発生してしまうので，遅くとも２６年度には洗心小学校をどうするか結論付けなければならないと

思っている。

できれば２５年度までに教育委員会として，洗心小学校をこのようにしていくという方針を出さなければならないと思っている。

２２，２３，２４年度の３年間が妥当ではないかと個人的には考えている。

委員　一番短い期間で３年間ということか。それで効果が出なかったらどうするのか。いくらかでもいい影響が出てくれば，もう一年ぐらいというのも考えられるのか。

宇都宮で同じような例があって，複式学級を解消するまでに５年ぐらいはかかっている。ＰＴＡ，学校，地域の人が学校のよさをアピールして，児童が集まってもらうまでに２年や３年では短い。いろいろなからみがあってそんなに長くはできないと思うが。

特認校になって，その結果が見たい。

仮に，洗心小学校が特認校になった場合に，学校，ＰＴＡ，地域にはどのような順序で周知していくのか。

学校教育課長　それが一番の課題だと思うが，教育委員会の内部でこのような方法で行こうと結論が出た場合には，委員長，教育長で市長部局に洗心小学校はこのような取組をしたいと話をもっていくことになる。それを受けて，事務局では校長に次年度以降にこういう形で実施したいと申し入れを行うことになる。

それと同時に，市のホームページあるいは市の広報等を通して，市内全域に周知していくこととなる。教頭会，校長会を通して学校側からも周知していくこととなる。

委員　２２年度からということだが，特色ある教育環境であるとか，今までにない内容も学校側は取り組まないといけないと思う。今でも洗心小は地域の方々が積極的に協力してくれていると思うが，さらに地域の方々が進んで学校に協力をしてもらえるような内容を学校が考える必要があると思う。２２年度までに学校の体制が整えられるのか心配している。

学校教育課長　そこが一番心配なところ。現在，洗心小学校は千葉黎明高校と交流ということで特色ある学校づくりの予算を有効利用している。登下校については保護者の責任においてという厳しい条件がついているので，それだけでは市内全域から集めるのは難しいだろうと校長には話している。現在も特色ある学校づくりを進めているところだが，それにプラスして洗心ならではの特色を目指して考えてほしいと事前に校長に話はしてある。どこまでできるかわからないが，学校，地域，時には教

育委員会がアドバイスすることによって，何らかの形で作っていかなければ乗り切っていけないと考えている。

委員　仮に特認校となった場合に，子どもたちに来てもらうには教育委員会だけでは限度がある。学校，地域，ＰＴＡが学校のよさをアピールするなど協力が必要である。課長の話から，地域に配慮しているということはわかるが，地域の中から盛り上がるような，児童を多くして学校を存続させようという気持ちが出てくるような方法を考えて進めてもらいたい。

学校教育課長　それは大事なこと。昨年の末，今年の１月と地域の方に集まってもらって説明をしたが，運動会時に話を聞いたところ，地域の方も心配して,自分たちでどのようにしたら子どもたちを集められるのか,そういう取組を細々であるがしているそうである。それが大きな流れになって，教育委員会に協力やアドバイスを求めてくることなども予想されるので，そのときには適宜相談に乗ったり，積極的に支援していく。

委員　小規模特認校についてはこの案でいいと思う。まずはこれをやってみて,地域でもいろいろと取り組んでいるということで安心しているが,常にこういった大きな問題の取組をしているときに，課長の説明で市民に丸投げはしていないので安心はしているが，地域に入っていって声を聞いて一緒に考えてあげたい。学校側だけでは,考え切れないだろうし,地域の協力があってこそのこと。

　周知に当たっては，教育委員会でできるだけ協力するということで安心しているが，細かいところまで声を聞いてあげたい。

教育次長　小規模特認校の関係であるが，今月協議事項で出させてもらった。この内容でよければ来月の定例会には，議案として承認いただきたいと考えている。

　また，１０月中旬には地元に行く用意がある。この時点では承認はいただいていないが，教育委員会としての考えを協議会で話してきたいと考えている。

　小規模特認校については，３年前の移動地域教育懇談会のときにも話をしているが，その時には学区の見直し等の意見がついていたと思う。学区編制については難しいところもあり，位置的に考えても三区しかないわけであり，今年三区から南小に入学したのは一人と聞いている。これが現実なので，教育委員会としてできることを提案させてもらうということで，現実的には難しいこともあろうかと思うが，こういった小規模特認校を地元に示したい。

　来年早々には入学説明会もあるので，次の定例会では承認をもらわな

ければならない。委員からいろいろ意見をもらったところであるが，学校でも特色ある学校づくりを頑張ってもらうしかない。教育委員会としても，できるだけ協力して周知等に努めていく。

委員長　市長に教育委員会の考えを申し入れ，広報等で周知するとのことだが，２月に入学説明会があると思う。洗心小学校以外の学校の保護者にも話をする予定か。

　また，実施要綱の中に見学会があるが，希望する親子に自由に行っていい期間を設けるなどの細かいところまで校長に申し入れるのか。

　入学・転入許可条件の中に,「通学期間は１年以上で，かつ卒業まで通年通学とする。」とある。取り消しとも関係することであるが，１年以内で辞退する親子もあるかも知れない。条件を最初に飲み込んでもらうのか。学校がどれだけ魅力あるものにしてくれるかにかかるが，取り消しについて柔軟に対処できるのか。

学校教育課長　まず，１点目の周知関係についてであるが，２月に行われる各学校の入学説明会には間に合わない。できれば１０月の定例教育委員会で承認をもらって，１１月，１２月に各学校を通して保護者に文書によって周知できるようにしていく。

　２点目の見学会については，応募があった場合は実施する。希望したものについては，丁寧に見学の計画を立てて対応していく。

　３点目の途中で他の学校に行くことについてだが，柔軟に対応しなければならないところはあると思う。転入・入学を希望する保護者については，当該校の校長には面接のおりに，ポイントを絞って保護者の意思を確認するようにして，途中での転校はないようにしていく。

　いずれにしても，歴史が８８年ある学校で，地域に育てられた学校なので，統合等は難しいと思う。教育委員会としては，次善の策になるとは思うが，特認校で丁寧に対応していきたい。

委員長　研究指定みたいにして，予算を少しつけるのか，特色ある学校づくりの予算だけでやるということか。来年度から少し考えてもらえるのか。

学校教育課長　次年度の予算関係については，１０月の半ば以降の動きになる。特認校を指定した場合には当初予算への対応が必要となってくる。予算に盛るかどうかは教育委員会事務局内部で検討していないが，予算的措置も講じていかないといけないと考えている。

　現時点では固まっていない。１０月の半ばまでには，事務局サイドで検討していきたい。

委員長　特認校として取り組んでいくこととして，１０月に議題としてあ

げてもらう。

洗心小の地元説明は１０月の定例会後か。

教育次長　１０月中旬ぐらいの予定。

委員長　市長へ説明して，それから学校へ，定例会の議決は地元説明会後となるのか。

教育次長　そのような流れになる。

委員長　これで進めてもらう。よろしくお願いする。

６　報告事項

（１）市立幼稚園及び小・中学校におけるインフルエンザ発生状況について（学校教育課）

学校教育課長　―資料に基づき説明―

県から来ている通知を富里バージョンに変えて，学校等に配って周知し，新型インフルエンザに対応している。

委員長　幼稚園や保育園の様子はわかるか。

学校教育課長　現在，学級閉鎖はない。

委員長　これから，秋・冬にかけて流行が懸念されるので，このガイドラインに沿って教育委員会，学校も対処してもらいたい。

（２）２００９とみさとスポーツ健康フェスタ　スポーツレクリエーション大会の実施結果について（生涯学習課）

生涯学習課スポーツ振興室長　―資料に基づき説明―

委員長　ストレッチ・ウォーキングで，当日の参加者が申込者数より１０名少ないが，理由等は聞いているか。

生涯学習課スポーツ振興室長　昨年は３４名の参加でほとんど欠席者がなかった。今年度は１０名ほど申込みより減っているが，個々に事情は聞いていない。

委員長　この教室に参加したが，講師の説明もわかりやすく，富里大好きという講師だったので，とても楽しかった。参加してよかったという感想を参加者みんなが持っていたので，来年も続けるようであれば，もっと人数を増やしていける工夫をしていくことが必要。

１０月にもあり，準備・片づけ等大変だがよろしくお願いする。

午後３時０９分　休憩

午後３時２０分　開議

（３）月例報告（各課等）

教育総務課

・９月９日に富小の児童３名の職場体験を受け入れた。
　同日に教育福祉常任委員会。冬休みに予定しているアスベスト撤去の工事(４校１４室),浩養幼稚園以外の地デジ対応の工事(体育館も含む），富里小学校第２校舎の耐震補強工事の設計を９月補正に計上した。
・８月２８日に始まった９月議会の最終日は９月３０日である。
・１０月１日に臨時会議を予定している。
・１０月２２日に平成２２年度の当初予算編成会議がある。
・１０月１９日～１１月６日まで文科省から地方教育行政実務研修で研修生が来る。
・１０月２７日に定例会議を予定している。

学校教育課

・９月１０日に浩養幼稚園保護者説明会を行った。出席者は２５名。
・９月１７日に浩養幼稚園地区説明会を行った。出席者は１４，５名。
・１０月１日に校長会。
・１０月３日に市立幼稚園の運動会。
・１０月に就学時健康診断が実施される。
・１０月２０日に小中音楽祭が予定されている。出席をお願いする。
・１０月３０日に公開研究会が第一小，日吉台小，北中で実施される。日吉台小と北中は文科省の道徳の研究指定校である。
・９月の校長会での指導事項について
・給食費の徴収状況について

委員長　学校教職員の勤務時間について，中学校の部活関係で朝は何時からで夕方は何時までと決まりはあるのか。

教育長　朝は７時半からで，放課後については季節・月によって，学校によって５時とか５時半とか時間が変わる。

学校給食センター

・２学期の学校給食が９月２日から始まった。
・１０月２２日に農家先生による食育授業を洗心小学校で開催予定。これで富里市内小学校は全部終わるので，来年度に向けて検討していく。

生涯学習課（社会教育班・文化班）

・９月１日～１３日まで，公民館１階ロビーで富里生誕１２０周年記念のパネル展を実施した。

・１０月１日～１３日まで，北部コミセンで富里生誕１２０周年記念のパネル展を実施予定。
・９月２４日～１０月３日まで，公民館１階ロビーで「絵で伝えよう！わたしの町のたからもの」絵画展示をしている。１０月３日に表彰式を予定。
・９月２６日に英会話の日の第２弾として実施を予定していたが，新型インフルエンザの影響もあり中止とした。
・平成２１年度浩養小学校放課後こども教室について，９月８日～１１月７日までに８回の開催を予定している。１０月２０日に教育委員にも見てもらいたい。各学校長にも案内をする予定。
・１０月３１日～１１月３日まで第４２回富里市文化祭を予定。
・第１７期青少年相談員の推薦を自治会長に本日の回覧で依頼した。

委員長　浩養小学校放課後こども教室が火曜日午後３時からとなっている。対象が１～３年生であるが，１年生の火曜日は何時間授業か。

生涯学習課長　時間の設定については，学校と地域の方で話をして決めている。集団登下校をしているので，待ち時間を利用して設定している。

委員長　集団下校ということなので，低学年は毎日待っているということか。

生涯学習課長　この時間であれば実施できると聞いている。

委員長　２０日か２７日で参加させていただきたい。

生涯学習課スポーツ振興室
・９月６日にスポーツ健康フェスタ（スポーツレクレーション大会）を実施した。
・９月１０日に郡市民体育大会の印東地区会議があった。
・１０月１２日にスポーツ健康フェスタを開催する。現在参加者を募集している。

図書館
・９月９日「ゆめぴったり体験」で富小から４名を受け入れた。
・９月１７日にふれあい講座を実施した。１５名が対象。
・９月２０日に市民の方々２２名の視察があった。

・９月１９日に電話機が不通になり，復旧作業を業者に依頼した。原因は老朽化による基盤の不備だった。不通の間の苦情はなかった。

・９月２１日～２４日にかけて８枚のガラス窓をクレームにより業者が交換した。
・１０月から閉館時間の１時間延長を試行する予定。

７　その他
特になし

８　委員長閉会宣言
委員長　以上で第６回定例会議を終了する。